

●全県総体

期日：令和6年6月1日（土）～6月3日（月）

場所：増田体育館・雄物川体育館（横手市）

2回戦

湯沢 2 $\left(\begin{array}{c} 20-25 \\ 25-22 \\ 25-20 \end{array} \right)$ 1 大館鳳鳴

3回戦

湯沢 1 $\left(\begin{array}{c} 18-25 \\ 25-22 \\ 12-25 \end{array} \right)$ 2 増田

【結果：ベスト8】

令和6年度全県総体が6月1日（土）から6月3日（月）にかけて、横手市の増田体育館と雄物川体育館で開催されました。

昨年度に引き続き「全県ベスト4への挑戦」をテーマに今大会に臨みました。増田高校に挑戦した試合は大健闘しましたがあと一歩及ばず、最終結果はベスト8となりました。

2回戦の大館鳳鳴高校は、春の県北総体優勝チームでした。練習試合でも対戦しましたが、強打と一瞬の隙を突くフェイントの硬軟織り交ぜた攻撃に苦戦しました。今回も序盤から一進一退の攻防が続き、簡単にリードを奪うことはできませんでした。ですが、選手達は粘り強く戦い続け、要所でこれまで秘密(?)にしていた速攻も決まりだし、どうにか振り切ることができました。

3回戦の増田高校には、この数年間の公式戦で1セットも奪うことができていませんでした。しかし、全県総体にかける選手達の意気込みも負けていません。取られはしたものの1セット目から落ち着いた戦いを展開し、続く第2セットでは観戦している方も引き込まれてしまうほどの集中力でセットを取り返すことに成功しました。残念ながら最終セットは力尽きてしまったものの、昨年度以上にさらに一歩全県ベスト4に近づくことができました。

今回の大会で引退となる3年生は、選手4名中3名が高校からバレーを始めた初心者でしたが、見事にチームの中心となって後輩を牽引してくれました。新チーム発足時は、理想と現実とのギャップに心が折れそうになったこともありましたが、ここまでチームを成長させた努力は素晴らしかったと思います。引っ張るだけでなく、1・2年生の力も見事に融合させて素晴らしいチームに作り上げたマネジメント力も高く評価したいと思います。また、物静かながら芯の強いマネージャー2名の存在も大きな力となりました。審判としても卓越した技術を持っていたこの2名だからこそ、初心者集団だった3年生が成長できたのだと思います。

3年生は今大会で引退となりますが、全県で最も成長したチーム（※顧問の感想）だと思います。この「全県一成長できるチーム（自称）」は、前の代の先輩達から続くものです。湯沢高校の伝統にすべく、後輩達も続いてくれることを期待しています。





【写真】 マネージャー（+顧問）撮影